



# 防災訓練 地域のでまちを守る

令和4年度地域防災訓練が11月27日、小幡小学校校庭で行われ、約400人の皆さんが参加しました。いつ発生するか分からない大地震などの災害に備え、日頃から防災意識を高め、いざというときのために備えましょう。

## 訓練内容

訓練は、午前9時ごろ県南部を震源とする大規模な直下型地震が発生し、町内で震度6規模の強い揺れを観測した想定で始まりました。

自衛隊、警察、消防、町消防団、各ボランティア団体、住民の皆さんの協力により訓練が実施されました。

- ① 災害対策本部設置
- ② 被害状況確認・警戒広報
- ③ 被害情報収集・情報伝達
- ④ 住民避難
- ⑤ 避難所開設・非常用電源設置
- ⑥ 障害物除去
- ⑦ 初期消火
- ⑧ 被害状況確認報告
- ⑨ 大規模火災・補給水連携
- ⑩ ボランティアアセンダー設置
- ⑪ 非常食配布

## 展示・体験

- 災害用伝言板・災害用伝言ダイヤル体験
  - 防災情報関連のスマホ登録支援
  - はしご付き消防車の試乗体験
  - 陸上自衛隊第12施設中隊の自衛隊車両の展示
  - 国土交通省高崎河川国道事務所の災害関連車両の展示
  - 起震車による地震体験
- この訓練で、関係機関との連携を強化し、住民の皆さんの防災に対する理解と意識を高めました。

## 歳末夜間特別警戒を実施

町消防団(峯岸藤喜団長)による「歳末夜間特別警戒」の出發式が12月1日に役場前庭で行われ、各分団の代表者が参加しました。

式には町三役や町議会議員、区長理事が出席し団員を激励、式終了後は消防車に乗車し、各地域へ一斉に出発しました。この活動は、空気が乾燥し火災が発生しやすい年末の1カ月間、地域の皆さんが明るい新年を迎えられるよう毎年実施するものです。



激励を受け、町内の特別警戒に出動



要支援者避難支援訓練



避難所開設訓練・段ボールベッドの組み立て